

竹富町小浜集落が農林水産大臣賞を受賞

平成25年度農林水産祭むらづくり部門

農林水産祭むらづくり部門表彰について

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業の技術改善と経営発展の意欲を高めるために、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会との共催により実施されています。

「むらづくり部門」は、「農林水産祭」の表彰行事7部門の一つとして設けられており、農林水産業の振興を中心に、生活、文化等を含む幅広い地域活動を展開し、地域の活性化を図っている優良事例を表彰しています。

小浜集落の取組

受賞された竹富町小浜集落（代表者：宮里彦一 小浜公民館長）のむらづくりの取組について御紹介します。

小浜島は「果報（かふ）ぬ島」と呼ばれるほど土壌や水利に恵まれた農業中心の島であり、小浜島の中央に位置する小浜集落は、小浜節や結願祭などに代表される古くからの伝統文化がしっかり継承されていることが特徴で、さとうきび生産や畜産業のほか、リゾート施設による観光業も盛んな地域です。

小浜集落におけるむらづくりは、



小浜集落の伝統的な祭り
結願祭



むらづくりの中心小浜公民館

小浜公民館が中心となって推進されています。古くからの伝統文化の継承を通じて醸成されたコミュニティの強さで、公民館を中心として集落みんな「キムピティツ（心一つ）」で協力して取り組んでいます。



島の経済の柱さとうきび



40年ぶりに復活した小浜大豆

小浜集落においては、さとうきび生産が地域の経済とコミュニティ維持に欠かせないものとなっています。過去2回、製糖工場廃止の危機に直面しましたが、住民による集落一丸となった取組で新工場の稼働を実現し、その結果、単収の増加に向けた取組が活発化するだけでなく、新規就農者やUターン就農者が誕生し、栽培面積も増加するなど、さとうきびを中心とした農業の再生が図られています。

さとうきび生産のほか、さとうきびと肉用牛の耕畜連携も行われており、近年では、さとうきび収穫後のゴマ栽培や、40年間栽培が途絶えていた小浜大豆を、農業高校とも連携して復活させるなど、新たな作物の導入にも取り組んでいます。

農林水産大臣賞の授与

11月14日に、小浜集落を代表して宮里彦一 小浜公民館長に対して、河合局長から農林水産大臣賞の授与を行いました。

今回の農林水産大臣賞の受賞を契機に、小浜集落の優れた取組や地域活性化の気運が沖縄全体で高まっていき、沖縄の農林水産業が今後とも発展していくことを期待します。



11月14日に行われた農林水産大臣賞伝達式